

- 速報！「豊岡の遠州大念仏」が
磐田市指定文化財になりました P1～2
- 津倉家住宅の一般公開をおこないます！ … P3
- 旧見付学校&旧赤松家記念館
「みんなの絵を大募集」 … P4
- コラム『交響曲第9番の魅力』高梨恭孝 … P4



©磐田市

速報！「豊岡の遠州大念仏」が磐田市指定文化財になりました



みつえ 三家組の大念仏供養



おいだいら 大平組の大念仏供養



だいらくじ 大楽地組の大念仏供養



ごうだいじま 合代島組の大念仏供養

9月27日に行われた定例教育委員会で、豊岡地区7ヶ所(大平、合代島、老貫地、松之木島、上神増、大楽地、三家)に伝わる遠州大念仏が、磐田市の民俗文化財に指定されることが決まりました。これで磐田市指定文化財は132件となります。

遠州大念仏は静岡県西部地域に伝わる行事で、お盆の夜に初盆の家を回り、太鼓や鉦などにあわせて念仏踊りを行い、故人の冥福を祈ります。かつては遠州各地で盛んに行われていましたが、途絶えたものも多く、磐田市内には豊岡地区の7ヶ所のほか豊田地区の加茂で活動が続けられています。



豊岡地区に伝承する遠州大念仏は、道中 — 庭入り — 大念仏供養（回向） — 礼念仏 — 退出（出囃子）からなります。勇壮な大念仏の一端をご紹介します。

道中

念仏組は、揃いの浴衣に笠を被り、笛・太鼓・鉦など30人を超す行列で、初盆の家に向かいます。行列の前方には、2基1組の飾り灯籠である「頭」とそれを先導する念仏組の責任者「頭先」が歩き、その後ろに幟、双盤（鉦）、笛、太鼓、摺鉦（小型の鉦）、供回りなどが続きます。



初盆の家に向かう行列（吉貴地組）

庭入り・回向・礼念仏

初盆の家に着くと、行列は庭を時計回りに回り、中央に太鼓、その後ろに双盤と笛や歌い手・供回りが決められた位置に並びます。笛と双盤、摺鉦などに合わせ、太鼓を踊るようにして打ち鳴らし、故人をしのぶ歌（歌枕）を唱和します。回向後、休憩に入ると施主から飲食のもてなしを受けます。休憩後、もてなしの礼として礼念仏をおこないます。



庭を回る念仏組（松之木嶋組）



双盤の様子（上神増組）

退出（出囃子）

回向が終わると笛・太鼓のリズムが変わり、出囃子の演奏が始まります。まず、頭先や頭などが庭を回り退出し、その後、庭に残った太鼓や笛・摺鉦が、出囃子にあわせて激しく踊りをしながら、初盆の家から退出します。最後に役員が施主に一礼し、遠州大念仏の供養が終わります。



退出（上神増組）

とっておきの情報コーナー 「磐田の遠州大念仏を語る会」のお知らせ

豊岡地区に伝承する遠州大念仏が磐田市無形民俗文化財に指定されたことを記念し、映像を視聴し、各念仏組の関係者からの解説、民俗学の研究者による小講演を聞くイベントを行います。お盆の時にしか見られない大念仏。この機会にDVDをご覧いただき、研究者や当事者の声を聞いてみませんか？

【日時】 平成30年10月27日（土） 午後2時～午後4時（終了予定）

【場所】 磐田市豊岡中央交流センター 多目的ホール（磐田市吉貴地76-5）

【問合せ】 磐田市文化財課（土・日・祝日休み） 0538-32-9699

豊岡中央交流センター（月曜日休館） 0539-62-9155

【その他】 申込不要 視聴を希望される方は直接会場におこしてください。

津倉家住宅の一般公開をおこないます！

今年も掛塚祭にあわせて、「津倉家住宅」の見学会を開催します。ぜひこの機会に、掛塚湊の繁栄の歴史を伝える貴重な文化財をご覧ください。

- 日時 平成30年10月20日(土)・21日(日)
- 公開時間 午前9時～午後4時
(最終入場 午後3時半)

申込不要・見学無料



津倉家住宅外観

津倉家とは

津倉家は、江戸時代から水運業の拠点として栄えた掛塚で、材木商・両替商・廻船問屋として、天竜川上流の木材などの運搬などに従事していました。明治時代には掛塚の中でも有数の規模を誇る豪商でした。津倉家住宅は、掛塚湊の歴史を伝える、磐田を代表する商人の屋敷として貴重な文化財です。



座敷の襖絵 (福田半香画)

みどころ① 『紙本墨画山水図 福田半香筆』 『紙本墨画山水図 平井顕斎筆』

座敷を仕切る襖ふすまには、福田半香と平井顕斎の山水画が表と裏に描かれ、いずれも磐田市指定文化財となっています。

福田半香と平井顕斎は、共に江戸時代後期の画家として著名な渡辺華山かざんの高弟で、華山十哲に数えられる画人です。



洋間内部

みどころ② 増築された洋間

洋間は、シノワズリ (西洋人の中華趣向) をテーマにしたと言われています。昭和のはじめ頃、東京などで流行していた「洋館付住宅」(和風住宅の一部のみを洋風にし、応接間としたもの)を意識して増築したものと考えられます。



駐車場 天竜川掛塚橋下河川敷駐車場
JR磐田駅・豊田町駅・浜松駅からバス
「掛塚」下車徒歩5分

問合せ:磐田市文化財課 (土・日・祝日休み)
TEL 0538-32-9699



旧見付学校&旧赤松家記念館「みんなの絵を大募集」

みなさんが描いた旧見付学校と旧赤松家記念館の絵を大募集！歴史的建造物のある風景を描いてみませんか？参加賞として、オリジナルクリアファイルを1つプレゼント！

【募集要項】

- ①応募期間 10月2日（火）～12月28日（金）
- ②対象 3歳以上の幼稚園・保育園・認定子ども園児～大人
- ③作品規定

- (1) テーマ:旧見付学校または旧赤松家を含んだ風景
- (2) 用紙:画用紙（四つ切り）
- (3) 画材:クレヨン、パステル、水彩等（油絵は除く）
- (4) その他:1人1点、募集期間中に描かれたものに限る
裏面に住所・氏名・ふりがな・年齢・性別・園・学校名・学年・組を明記

- ④作品受付 旧見付学校または旧赤松家記念館
(郵送可 12月28日消印有効)

※返却希望の方は、作品提出先にお問合せください
(作品保存期限:平成31年5月1日)

- ⑤入賞作品の発表 1月下旬、市ホームページにて発表

- ⑥作品の展示 2月以降、旧見付学校と旧赤松家記念館にて入賞作品展示



©磐田市

問合せ:旧見付学校（月曜日休館）磐田市見付 2452 TEL&FAX 0538-32-4511
旧赤松家記念館（月曜日休館）磐田市見付 3884-10 TEL&FAX 0538-36-0340

職員リレー コラム

交響曲第9番の魅力

高梨 恭孝

かつて交響曲第9番は、作曲家にとって遺作となったことや作曲の途中で亡くなってしまったことから「第9の呪い」と言われたこともありましたが、今では長大な交響曲を9曲も作曲すれば、寿命を迎えるくらいの年齢になるものだと解釈されています。

名曲ぞろいの交響曲第9番ですが、私のお気に入りのベートーベンとグスタフ・マーラーの第9は、それぞれの時代背景などを考えながら聴くと興味深いものがあります。

ベートーベンの第9は、1824年に完成しましたが、1789年に起きたフランス革命の影響があると言われています。古い封建的な体制からの解放や勝利といった高揚感が、特に第4楽章の歓喜の歌から感じることができます。

また、19世紀末から20世紀初頭にかけて活躍したマーラーが作曲した第9は、1910年に完成しました。世紀末という漠然とした不安や第一次世界大戦を間近に控えた混沌とした社会情勢を背景に、作曲者本人の不安や喜び、自然への畏敬、人生の諦観などを、直接的というより第三者的にクールな視点で音楽として表現しているように感じます。

1世紀以上も前に創られた音楽を自分の解釈で好きなように聴く。音楽を聴くには最良の季節です。皆さんもお気に入りの交響曲第9番を聴いてみませんか。

グスタフ・マーラー:オーストリアの作曲家・指揮者。ウィーン国立歌劇場、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の指揮者を兼任。交響曲第10番を未完のまま死去した。



編集後記
大念仏の取材の際は大変お世話になりました。語る会では、大念仏の映像の解説も！ぜひご参加ください。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1 電話：0538-32-9699
◆WEB版は市HPから閲覧できます。磐田市 文化財だより [検索](#)